

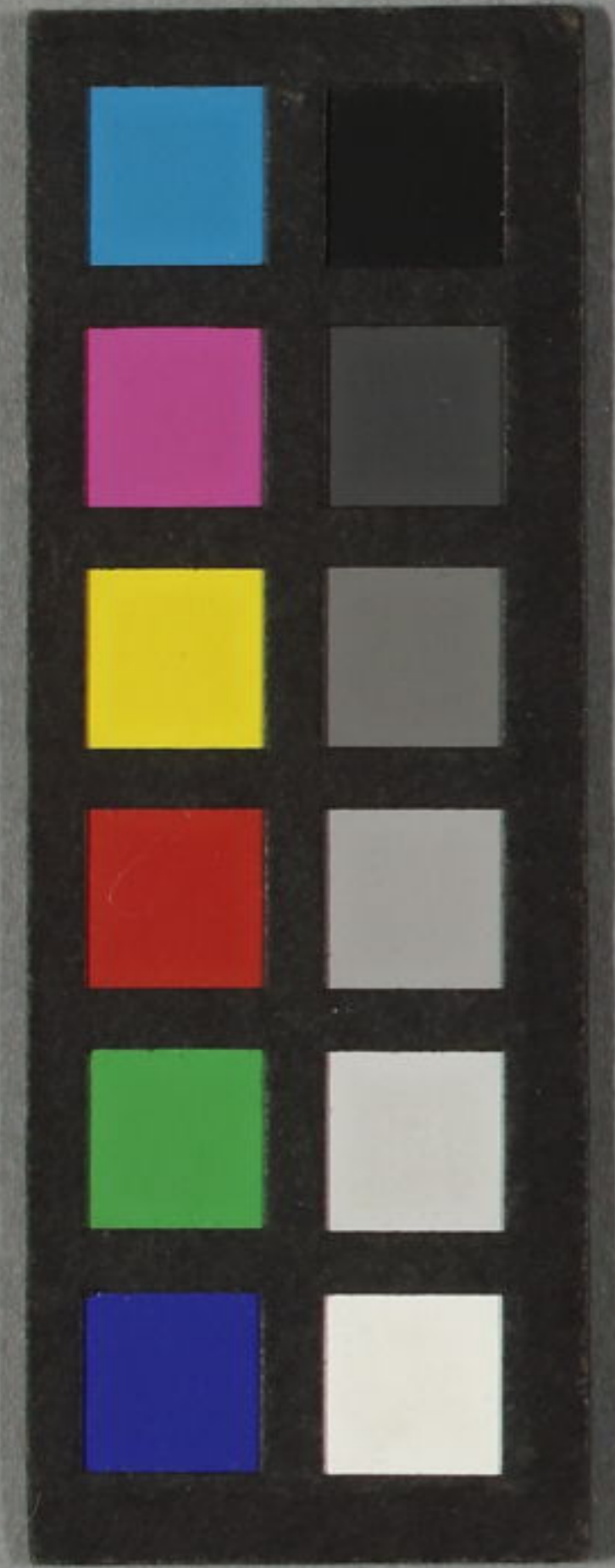


^13  
3798  
4



^13  
3798  
3





^13  
3798  
3



江戸櫻

清水清玄

二篇上

柳水清玄  
梅鉢樓

白英文



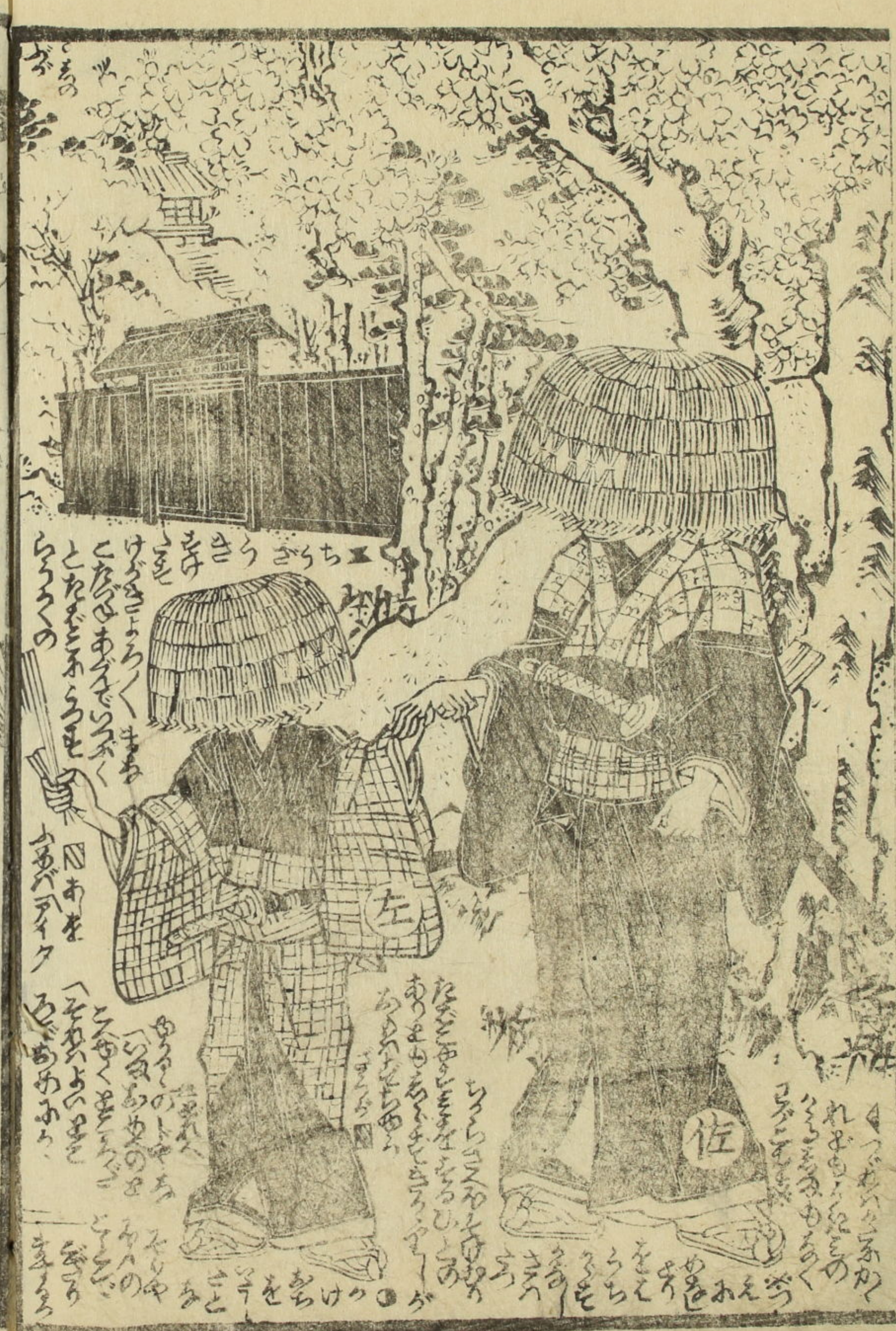
南の園風玉の藤田又八が残せり石あり此は随神の額の  
編ありと如何なるか名を流聞たる花川戸と呼  
衝ありも是意を組の長ある人助六の虫と名かく  
しそ流す初これ其も他者不違流の標頭蛇の目の  
拿の骨次合ふらるのしけは石名儀先一寸八分の親を  
を吹釘し言る尺八の昔男の助六が江戸業の白英を梅の  
巻ふ藤巻る自慢も言はれ鼻やその花より交る柳柳が二尺  
さす小助六の骨次ありて梅の巾より筆持さすのちくく我入て  
亭きと新より

柳水亭種清



江戸  
見物  
二

二  
見物  
江戸



江戸橋















四ノ節



海舟



上巻 二

あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに

あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに



あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに

あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに  
あまのついでに

午新春新版標目

志度六  
童子  
魔魔  
立重  
諸妙々車

編  
柳下亭種員作  
梅蝶樓國貞画

薄  
傳  
ま  
な  
り  
日  
記

初編 二編 三編  
梅蝶樓國貞画

一  
夜  
附  
茶  
番  
雛  
形

春馬軒同  
画

本  
家  
實  
母  
散

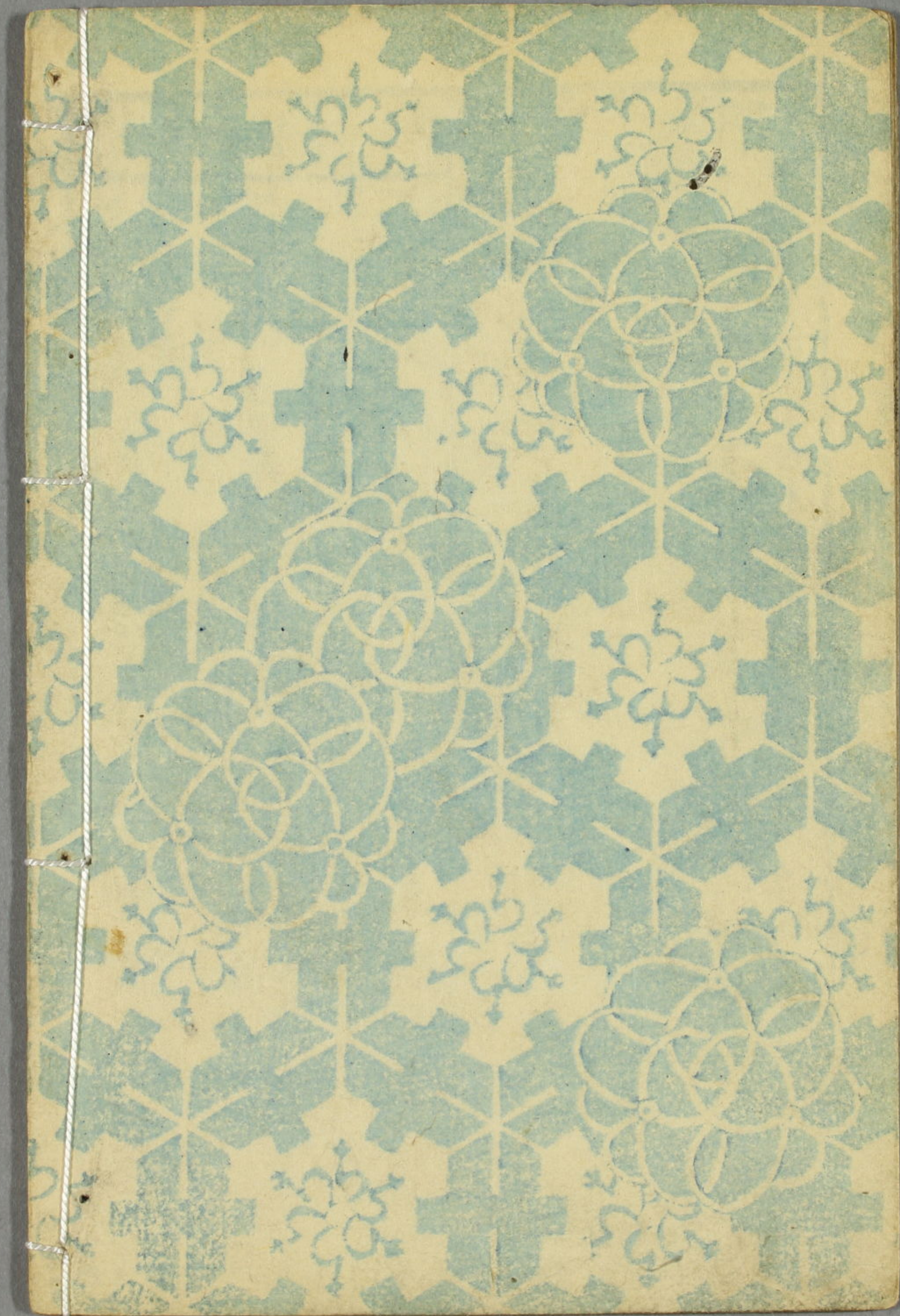
千葉堂二孝輔  
画

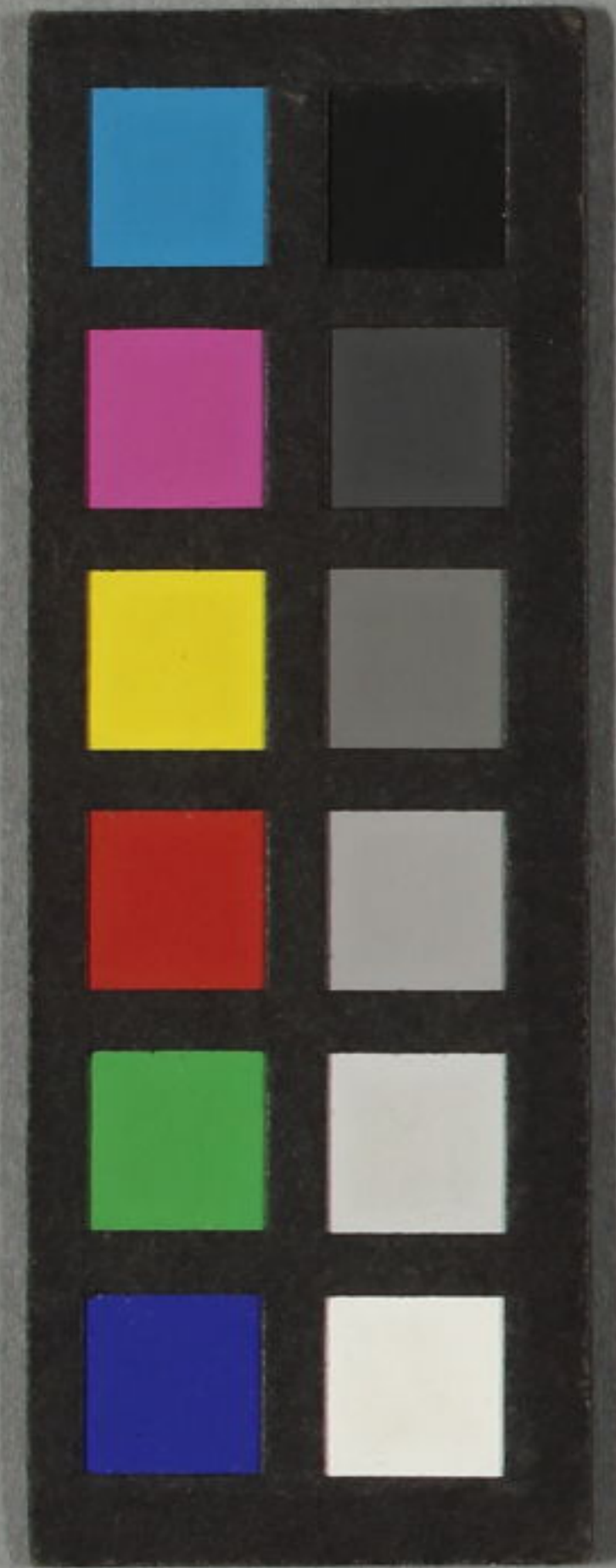
御免  
神  
積  
湯  
せん  
き  
の  
妙  
茶

信州上田東山堂製



江戸





^13  
3798  
4





久松 隆のき  
 長母水安のま  
 二篇下  
 多松 隆のき  
 久松 隆のき

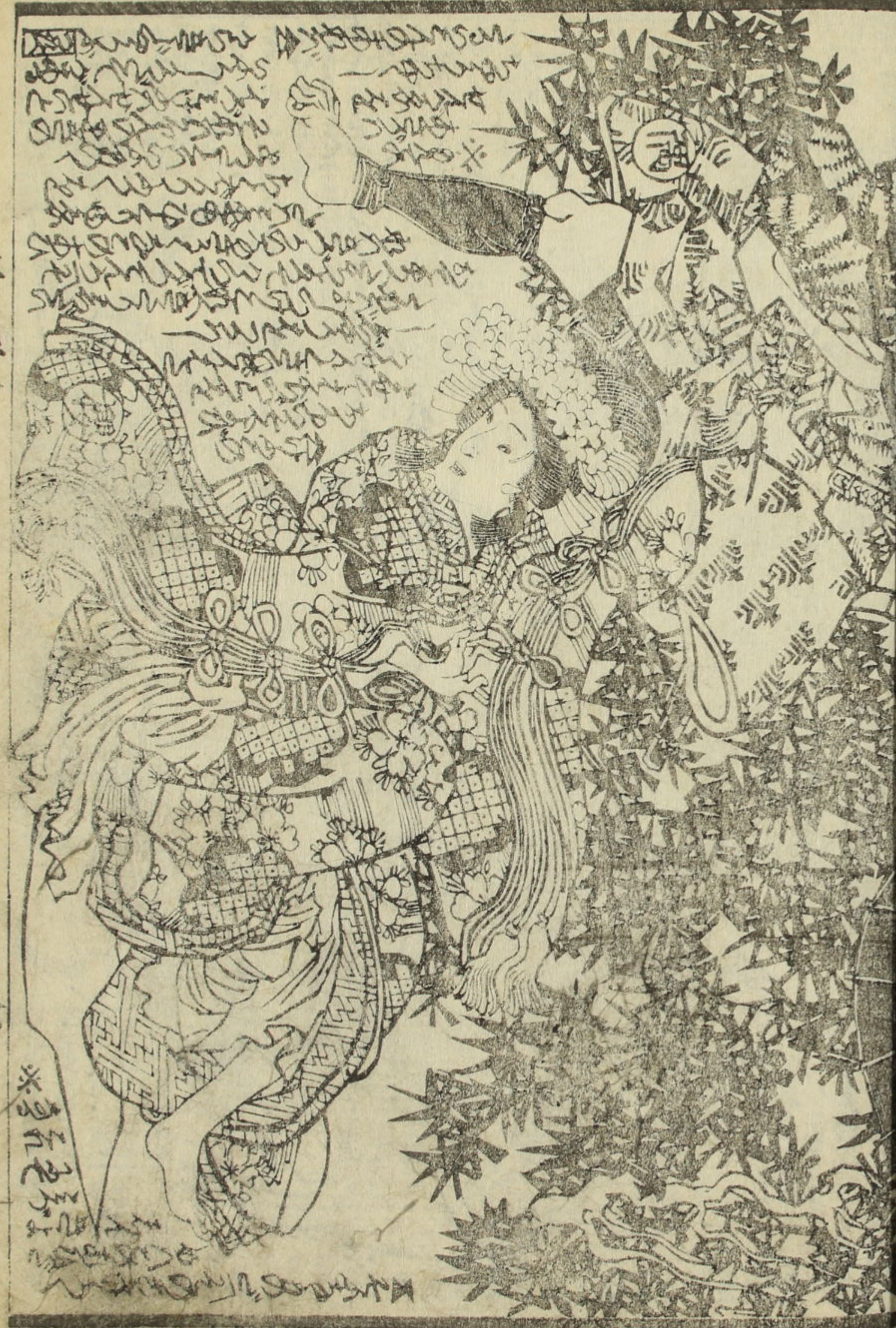














江戸娘二

一七



江戸娘一

一八



江戸橋の風景を記す。橋の上を歩く人々の様子、橋の構造、周囲の建物や商店の様子を詳しく描写する。橋の名前や場所も明記されている。



江戸橋の風景を記す。橋の上を歩く人々の様子、橋の構造、周囲の建物や商店の様子を詳しく描写する。橋の名前や場所も明記されている。







上二題



下二題

大晦日曙草紙

北四編 京山作

正成談忠錄全

春馬譯 國郵画

八大傳大の綱目

廿九編 仙果録 早編 國貞画

新田足利龍虎録全

同 國貞画

仇櫻惠白浪

三編 春馬作 國貞画

歳徳曾我松嶋屋

三編 種清録 國貞画

新當録常屋窓合

五編 西馬録 同 画

鼠小紋東居新形

三編 同 同 画

歌討噂古市

三編 種清作 同 画

入艤倭取搦

三編 同 同 画

頼朝青雲録全

春馬譯 國周画

地本 關屋為屋吉藏梓



江戸

二



江戸橋清水情玄



押水亭總  
梅嶽樓畫

紅英  
文庫

第三篇